

## 第3章 リーディング・プロジェクト

本計画では、本市が目指す環境像『水と緑の大地 新たなふるさとに』の実現に向けて、計画期間中に取り組むべき最重要課題として「リーディング・プロジェクト」を掲げています。

リーディング・プロジェクトの選定にあたっては、次の3点を基準としています。

- ・本市の環境課題の中でも重点的かつ緊急に解決すべき取組であること。
- ・市民・事業者の環境教育・環境保全活動に関する取組であること。
- ・地球環境問題の解決に資する取組であること。

以上の基準を踏まえ、以下の5つの事業を重点的に推進していきます。

1. 生物多様性地域戦略策定事業
2. 航空機騒音対策事業
3. ごみ減量化推進事業
4. 再生可能エネルギー導入推進事業
5. 環境教育モデル形成事業

## 1. 生物多様性地域戦略策定事業

### (1) 実施目標年度

平成 30 年度から

### (2) 事業の内容

本市には、海、山、川などの多様な自然環境があります。そこに生息・生育する様々な種類の動植物が、自然を介して他の生物との間に様々な関わりを持っている状態を生物多様性といい、これが維持されていることで、私たちは自然から様々な恵みを受けています。

しかし、私たちはこれまで大規模開発や生物資源の乱獲などによって自然環境を破壊し、その結果、生態系の損失や種の絶滅、外来種の侵略など様々な問題が明らかになっています。また、東日本大震災では地震による地盤沈下や津波により、沿岸部の市街地や集落、自然環境が一変しました。

こうした自然環境の喪失を踏まえ、持続可能な人と自然との関係を整理し、自然の恵みを将来世代に引き継ぐことを目的として、「生物多様性地域戦略」を策定します。



## 2. 航空機騒音対策事業

### (1) 実施目標年度

平成 28 年度から

### (2) 事業の内容

本市は航空自衛隊松島基地が位置する東松島市に隣接し、航空機の離着陸経路の下に位置していることから、騒音の影響を受けています。

航空機の騒音は本市の環境において大きな問題であり、平成 28 年度には基地機能の全面再開が見込まれる中、市は騒音の測定地域において、新たな機器の設置等の強化を行うとともに、面的整備を進めながら、測定データに基づく国への要望を行っていきます。また、影響の少ない地域の住民に対しても問題提起や周知を行い、全市的な環境問題として喚起を促進します。



### 3. ごみ減量化推進事業

#### (1) 実施目標年度

平成 28 年度から

#### (2) 事業の内容

現在、一般廃棄物最終処分場の残余容量が平成 34 年頃には逼迫すると見込まれるなど本市のごみに関する状況は厳しいものがあり、早急に新たな減量対策に取り組む必要があります。

不燃物中間処理施設の建設などごみの減量化に係る各種課題の実現性を具体的に検討するとともに、分別によるリサイクルの充実や有料化など新たな対策を検討します。

### 4. 再生可能エネルギー導入推進事業

#### (1) 実施目標年度

平成 28 年度から

#### (2) 事業の内容

本市では、太平洋に面し日照時間も長いことから太陽光発電に適した地域特性を活かし、太陽光発電システムの普及促進に努めてきました。

今後は、石巻市震災復興基本計画の重点プロジェクトの一つである、再生可能エネルギーを活用した「低炭素なエコタウン」と、災害時に「灯りと情報が途切れない安全・安心まちづくり」の実現を目指す、石巻スマートコミュニティ推進事業を進めていきます。

また、本市でも一定規模の賦損量が見込まれる風力エネルギーやバイオマスエネルギーなどの再生可能エネルギーについても、導入の可能性について検討を進めます。



## 5. 環境教育モデル形成事業

### (1) 実施目標年度

平成 28 年度から

### (2) 事業の内容

こどもへの環境保全に対する教育はますます重要性を増してきており、地域の実状にあった環境教育の推進に関する方針の策定などが求められています。また、これまで実施してきた「自然環境確認調査」の結果など地域の環境情報を踏まえた、具体的な環境教育の教材やプログラムの開発も必要となります。

このため、教育委員会や環境関係団体と連携し、小学校・中学校において必要な環境教育の在り方及び内容について検討し、今後の本市における環境教育のモデルを形成します。



